内水試かわら版 4

現在の水質（4月24日）

水温が15°をこえ生物活動がかっぱつになって来ました。まに酸欠の心配はありませんが、高崎の透明度0.5mと、同地点で酸素の上下の差が3.5ppmあるのが気になります。また、現在湖心部のプランクトンは

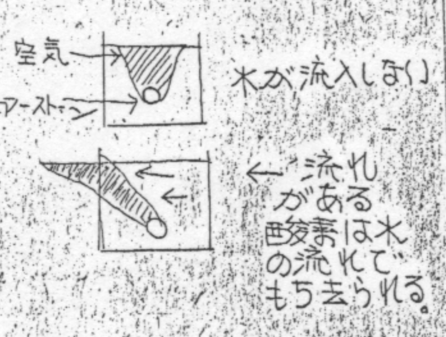
種類		個/cc
鞭毛虫	(Chlomonadae)	1750
シネドラ	(Synedra)	1150
	(Dictyosphaerium)	200
アオコ	(Microcystis)	250

です。北浦でもほゞ同様です、がアオコは、少ないようです。

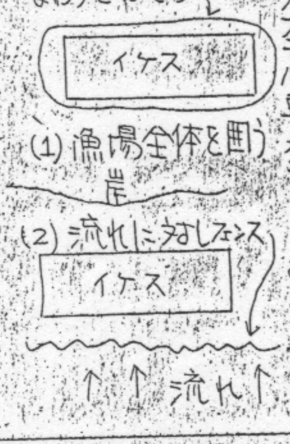
酸欠対策 3. 曝気

養魚をおこなう場合、曝気装置はどうしても必要なものです。それは、水が悪くなって酸欠になっても、空気を水中におくり込んで魚の命を保障してくれるからです。しかし、網生簀では事情がちがいます。網イケスは、網をつうじて内外の水が、まじり合って、1時間当り、網生簀容積の5〜10倍の水が入って来ます。わかりやすく、図示すると。

	透明度 m	酸素 ppm	塩素 ppm	水温 °C	クロロフィル mg/m³	COD ppm
木原 上	1.3	10.6	289	15.4	60	7.7
木原 下		8.8	279	15.2		
三又 上	1.3	10.5	318	15.0	88	6.5
三又 下		10.1	322	14.0		
麻生 上	1.3	10.9	331	15.1	52	6.7
麻生 下		10.7	331	14.8		
高崎 上	0.5	12.2	19	16.8	150	7.9
高崎 下		8.7	–	15.6		
白浜 上	1.8	7.8	600	15.2	44	6.4
白浜 下		9.3	619	14.6		
江川 上	1.3	10.2	459	15.6	82	5.0
江川 下		8.4	543	14.6		
三和 上	1.2	11.4	300	15.8	102	6.1
三和 下		8.3	–	14.8		
安塚 上	2.1	9.5	29	16.2	34	4.5
安塚 下		8.8	29	15.8		



網イケスはわずか、25m²しかありませんが、オカイケスだおると、百坪あるいは、それ以上に匹敵します。このようなわけで曝気装置は、水のかわりが悪い、水草が茂げっていたり網イケスが密集した漁場で効果を発揮します。逆に水のかわりがよい、面数も少ない漁場では効果は弱いといえます。このような漁場では、酸欠の場合には、流れをとめるような努力も必要かもしれません。



しかし、風の強い場合には、フェンスが破カイされる心配もあり、確な方法とはいえません。また、撒水、水車、等も、同じで効果はないとはいえませんが、注入量が少なく、コイの命を保証することはできません。漁船による送水はもし近くに少しでも酸素のある水があれば、効果的な方法といえます。しかし（昨年の）北浦北部、高浜入のように全域酸素0ではとても効果は期待できません。（つづく）

訂正・3号
高崎の塩素量397は39.7の誤り

茨内水試図